（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）
昭和十年九月二十日〔日刊〕 新いわき 〔金曜日〕 第一千五百七十六號

九月十九日 夕刊

日刊 但日曜祭日及日休
定價 一ヶ月二十五錢 一部二錢
廣告料 一行 四十錢 地所指定 貳拾錢增
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社
發行人兼編輯人 中谷政次

犯さゞれば罰なし

常識判斷で清き一票

棄權者のないやうにと 柴田平署長の談

苦杯をなむるもの二名を見ねばならぬ石城郡の縣議戰は後六日を残して愈よ白熱化を呈し八名の立候補で六名の定員を逐ふ今酣の遊説隊は宛ら走馬燈に拍車をかけたが如く目まぐるしい展開の中に勝を爭ふ混戰の結果は其の副的産物として違反者の檢舉に縣下のトップを切つた脅えの中にデマが飛び某派にまた新しい違反を舉げられたとか某派の檢舉は某派の指がねによるもので愈て逆襲を招くであらうとか、弱勢の某派は憂目を見た場合の腹いせに某候補の違反事實を既に握つてゐるとか漸く泥試合の噂を生んで選舉補正の深刻な叫びと其の筋の嚴重なる監視取締からさなきだに萎縮してゐる一般有權者に種々な恐怖をさへ與へるに至つた其の爲めに會てない棄權者を見るのでないかと云はれてゐるが右に對して柴田平署長は左記の如く語る

正しい選舉を行はしめたい爲めにする違反者に對しての嚴罰主義から棄權者が多くならうと云ふ樣なことは望ましくない、違反があれば致方はないが違反者を出したくないからの取締であつて此の方針から極端な眼を以て選舉民を見やうとはしてゐない、運動に携はる者であるなら法規に暗いと云ふ樣なことがないでもなからうが他の人々には左樣な取越苦勞は要るまい眞に心の人に一票を投すればすむことで簡單に云へば犯さゞれば罰なしと云ふ正しい常識的判斷の上で所持する一票を行使することに何等の不安があるまいと

平町の有權者 四千三百余に

失格者二百余名

最近迄の調査で既に一六四人 死亡五四轉出一〇二其他

平町に於ける縣會議員選舉有權者の登錄人員は四千三百二十二名であるが右に對する死亡、轉出、所在不明者が最近までの調査に於て百六十四名（死亡五四、受刑者一、轉出一〇二、所在不明六）に上つてゐるので來る二十五日の選舉當日までには二百余の失格を豫想され結局四千百名位の有權者になりそうであると

傷病兵慰安會

軍人後援會福島支部主催傷痍軍人慰安會は來る十月二日福島市に催されるが平町から六

吾等の縣會議員に望む

（5） 柴田德二氏談

理想を言つたら限りがあるまい、先づ石城郡の候補者など何れを縣會座に押出しても大して引けはとるまいと思ふ、但し平町としては諸種の大問題があるからシツカリした代辯者が欲しい然し問題に對して豫めハツキリした解答を云ひ得る候補者も亦案外少いものである、

次に標題外の事ではあるが町村長を辭して立候補する人が縣下に可成見える樣である、當選の上再び其職に歸るとすれば一考の要がある、議會政治の本場英國では大臣が議員を兼ねるは普通であるし日本でも初期の議會で陸奥伯が先例を示して居る、國法が許して居るのに余計なお節介だと言へばそれ迄であるが東北の疲弊したる町村自治に於て當局者が他の自治体に携を入れる丈の余裕が果してあるか、自治体の長は一國に譬ふれば元首の地位である、切磋琢磨身を以て率ゆるに非ずんば一國は治らない、かるが故に元首は神聖である、町村長と雖もこの心を以て心としたい、望む事が少しく嚴に失するかもしれないがこの神聖にして偉大なる町村長を縣議戰の巷に晒す事は實に忍び難いのである、

名出席の模樣である

郷里よりも炭鑛

石川健美（三九）は去る九日午前十一時頃家出のまゝ不明となつたが石城地方の炭鑛にゐるらしいと實家から捜査願

識講座

ノミノイチを英語だと思つてはいけない小さな市、蚤の樣な市の意で傘一本位を覆ひにした露店が小社寺の境内に開かれる市だ其の市で左樣連が酔つどれたら飲の市でもあらう

同業親睦と研究に

平木炭協會生まる

發會後の第一回會合に於て 目的に初一歩を踏出す

平營林署管内木炭關係業者は業者間の親睦と當業の研究調査に資すべく平、小川郷、川前各驛に亘る移出業者及び有力な生産者を以て平木炭協會を組織し去月十七日發會式を擧げて營林署及び木炭檢査所關係員を合せ廿三名の會員を得たが毎月一回の會合を去る十七日午前十時小川郷驛脇營

更に特等制を設け檢査等級により一、二等間に二錢乃至三錢、特等と一等に三錢乃至四等の賃差をつけ實行すること▲地方の仕入價格は中央市場の仕切價格に準じて格差をつけること▲同業組合の製炭指導員巡回が公平でないから平營林署管内を九區に分けて順次巡回指導をなすこと（以上）

四倉繭市開場

來る廿五日から

四倉繭市場は晩蠶繭に至る出荷途切れのため臨時休場中であるが愈々出廻りを見込む來る二十五日から開場すると

濱木炭の出品 百點超過

福島市の公會堂構内に於て來る十月十五日から十九日まで開催される本縣山林會主催一道六縣隣接三縣聯合の林産物共進會は出品三千點に上る豫定に對し濱通り木炭同業組合に三百五十點の出品を割當てられ昨十八日締切で申込みを受けてゐたが當日までに四百九十點に上り百點を超過した

林署貯木場に開催し會員二十名と附近に於ける生産者十四名を會して左記の三項を附議し同會の目的に第一歩を踏み出した

木炭の燒賃は濱運を通じて品質の良否に格差がなかつたのを昨年から一部に一、二等の差を附されてゐるが

石城大麥の格付決定

共販は來月中旬か

石城郡産の大麥に對し受檢共販を計畫されたことは既報の如く此の格付協議の結果は甲乙、丙、及び格外の四等に分ち

各農倉の入庫を見て初回共販をなす筈だが地方生産者は打續く天候不順による稻作の懸念から來の收穫を確かめた上でなければ手放さぬもの丶如く從つて同共同販賣は來月中旬頃になるであらうと

軍人後援會新會員

平町で十一名

帝國軍人後援會本縣支部では來月二日閑院宮殿下の御台臨を仰ぐ福島市の支部總會に先き立ち受救護者八名を現在する平町に笠原主事補を派し特に此の際特殊會員を募集中であつたが老兵會長木澤常松氏と共に奔走の結果町内から左記の入會を得た

特殊會員二百五十圓づゝ古銀治山崎清三　同大谷要次郎　同木澤常松　鼠坂渡邊ちか　研町鈴木亮　長橋關内半平　南町根本莊次郎　研町吉村安次郎

特別會員五十圓づゝ古銀治町佐藤榮次　研町屋島廉輔　南町小谷勇太郎

ガソリンカーの速度試驗

平驛を中心とする湯本…久の濱間及び磐越東線小川郷に至るガソリンカーの運轉は過般路線調査の試運轉に好成績を上げたので更に昨十八日は湯本…久の濱間に今十九日は小川郷間に速度試驗の運轉を行つたが之また成績良好であつたと

藥師祭から足

東白川郡笹原村川上鈴木勝吉（三三）は本年六月三日家出音信不通でゐるが去月五日の赤井藥師祭に附近のものが參詣に來た際同人と會つたと云ふので妻すてから平署に捜査方を願出た

内縁夫を捜査願

栃木縣塩谷郡箒根村の關谷長恒金次郎（三三）は今から四年前に家出したが石城地方の炭鑛に居るらしいと内縁妻增田さすから平署に捜査願ひ

旅行期節の一團体

金華山、善光寺の參詣

平驛では旅行期節である來十月中旬日本旅行協會主催に係る二つの團体を募つてゐるが一つは宮城縣松島の島巡りから石の卷、金華山、鳴子温泉を經て仙台市見物を金十四圓二十九錢（汽車賃三割引四圓六十四錢、其の他の費用九圓六十五錢）で十八日午前十時出發行程三日間の二十日午後三時半歸着他の一つは水上温泉、清水トンネルを經て長野の善光寺詣りを金十三圓八十一錢（汽車賃三割引七圓三十六錢、其の他六圓四十五錢）で十四日午前七時五十五分出發行程は同じく三日間の十六日午後八時二十分歸着の豫定になつてゐるが兩團体の行程大要は左の如くである

松島廻り第一日車中々食鹽釜神社參拜松島巡りの後石の卷着泊　第二日金華山參拜中食後鳴子温泉着泊　第三日仙台市内自動車遊覽の上歸途

水上温泉第一日車中々食温泉着泊　第二日清水トンネルトンネル通過長野着善光寺參詣の上市内泊（車中々食）第三日善光寺朝の御開帳と大法要を濟まして歸途

映畫館ニュース

平館

「金色の唇氣模」「旅烏お妻やくさ」「國定忠次」

世界館

「お小夜繼姿」「八州侍やくさ」「國境の町」

郷土史抄

故濟先生の遺影を偲ぶ 三

（瀧川家の史料採訪）

鮫川漁史

當撰狀

菊多郡大倉村　瀧川濟

第壹番投票五百九拾枚

右菊多郡縣會議員ニ撰定候也

明治十九年十月二日

福島縣菊多、磐前、磐城郡長白井遠平（朱角判、印文同上）

菊多郡大倉村外二ヶ村聯合村會議ノ内ヘ、金拾圓寄付候段奇特之儀ニ付、爲其賞木盃壹個賜候事

明治十九年十二月一日

福島縣知事從五位勳四等折田平内（角朱印、判文、福島縣知事折田平内）

當撰狀

瀧川濟

右大倉村外二ヶ村聯合村會議員ニ撰定候也

明治二十年三月二十九日

福島縣菊多郡植田村外十九ヶ村戸長藤井利一（朱角印、前同）

當撰狀

瀧川濟右菊多郡大倉村六番衛生組長ニ撰定ス

明治二十年八月八日

福島縣菊多郡植田村外十九ヶ村戸長藤井利一（前同）

當撰狀

瀧川濟

菊多郡大倉村々會議員ニ撰定候事

明治二十一年三月二十二日

福島縣菊多郡植田村外十九ヶ村戸長藤井利一（朱角判、印文同上）

會員

瀧川濟

部落委員ニ撰定ス

明治二十一年四月一日（一年の處に、朱角印を押す、判文角汲泉會之印とあり）

泉汲深會々長正五位本多忠仲（朱角判、印文泉汲深會長之印トアリ）

今年の秋刀魚漁況占ひ

（中）

農林省水産試驗場
丸川技師の推測

即ち一つは需要者にとつて眞にならないまづいものを出すこと

其の二つは沿岸漁業者が考へる不漁の考へ方からこゝに秋刀魚早漁の適、不適が水産行政者の間に問題とされるに至りこれには秋刀魚の移動、主たる繁殖等の問題も究明せぬばならないがおいそれと解決の出來ない問題であるから、

兎も角、漁期を九月二十日以後に制限しやうと云ふことになり昨昭和九年から實施されたわけである、

秋刀魚の移動、ところで今年の秋刀魚漁はどうであらうかの話も含めて農林省水産試驗場丸川技師が最近さんまの大觀を語られたる所によれば

秋刀魚の壯成魚は生殖時期に北から南へ移動すると云ふことは大体に肯定されて漁場も三陸太平洋の東北海區が大部分で、いはゆる本場とされて居り、これから更に南へ移動することも事實であるが、中には北海道の太平洋沖合に棲息し此の中には既に八月に産卵を行ふものがある、

斯るものは秋刀魚ではあるが生活狀態が異なつて北海道を常棲地としてゐるものとして一般の秋刀魚とは區別して考へられてゐる、

然し北海道沖合にも九月、十月になると漸次南へ移動する秋刀魚の部屬がある。

カニ石鹸
嚴密なる注意を以つて原料を精選するが故
泡立に……芳香に……量に……總て理想的優良品です
1ケ…10錢　1ダース…1圓　●純マルセール石鹸1ケ…10錢●
ツルヤ　平四〇一四〇

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社
印刷部

醤油　味噌　たひら正宗　鰹節食料品
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

ヤマフル
鹽屋　山崎合名會社
電話　本店一〇番　營業部二七番

賣券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

便利で經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平町字田町十八番地（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話（呼）一八九番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野恵次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町
平看護婦會
會長　清野キヨ
電三〇七
經濟的な御便宜をお願致升
ご用命
御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
◇茄果類ではトマト茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◇如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵　廿五錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番

貨物自動車（トラック）の御用命に應じます

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
「治療代」…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所　日中は城山楽園（電話一〇九）日没後は一丁目自宅（電話四七〇）
醫療士　飯田近治

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
◎自炊の便あり◎

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

煙突は
朝日
煙突は
朝日
月給サラリーマン
朝日煙突
煙突は高く頭は低く
住む地に愛市